



### 代表あいさつ

## 市民活動のつながりを大切に



会員の皆様方には、清々しい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

元日 16 時 10 分ごろ、石川県を中心に最大震度 7 の地震が発生しました。「令和 6 年能登半島地震」は石川県に限らず大きな被害をもたらしています。妻の実家がある新潟県でも液状化や津波などの被害が出ており、私も応援に駆け付けました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

地震に限らず自然災害は、いつどこを襲うかわかりません。自らの命、大切な人の命を守るためにも、日

あびこ市民活動ネットワーク代表 関口 隆彦

頃から災害への備えが大切だと改めて感じます。市民活動によって生まれる地域のつながりは、有事の際に手を取り合える関係となり、市民活動の活性化が災害時の備えの一つになると私は考えます。今年は会員の皆様との円滑なネットワークを図れるよう、あびこ市民活動ネットワークが機能していけたらと思います。

さて、昨年 5 月にコロナが 5 類に移行してから、地域活動は以前の姿を少しずつ取り戻しているように感じます。市民活動における担い手不足の課題もありますが、あびこ市民活動ネットワークが注力すべきことを見極め、会員の皆様と共に良い一年にしていけたらと思いますので、本年もよろしく願いいたします。



## 市民とつくる協働のまちづくり

我孫子市長 星野 順一郎

新年おめでとうございます。

あびこ市民活動ネットワーク会員の皆様には、日頃より市政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

昨年は、手賀沼花火大会や各地域のお祭りが復活するなど、多くのイベントが開催され、まちに賑わいや活気、地域のコミュニティが戻ってきたことを実感した 1 年でした。

我孫子のまちを「選ばれる魅力あるまち」にするためには、子どもや高齢者を支える活動、地域の美化な

ど環境を守る活動といった市民活動、日常の生活に最も身近な自治会、地域のコミュニティづくりを担うまちづくり協議会など、市民の皆様様の様々な活動を広げていくことが大切です。

市といたしましても、皆様はもちろんのこと、あびこ市民活動ステーション、自治会、まちづくり協議会、企業等と力を合わせ、市民とともにつくる協働によるまちづくりを推進していきますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、あびこ市民活動ネットワーク並びに会員の皆様様の更なるご発展と、ご健勝を心からお祈りしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

### もくじ

1 P 代表挨拶 / 星野市長挨拶

2 P ~ 3 P 会員アンケート集計結果

4 P 活動報告 子ども応援団事業

5 P 地域の活動あれこれ 株式会社 Hafen のこれから

6 P 地域の活動あれこれ ・あびこミュコピ

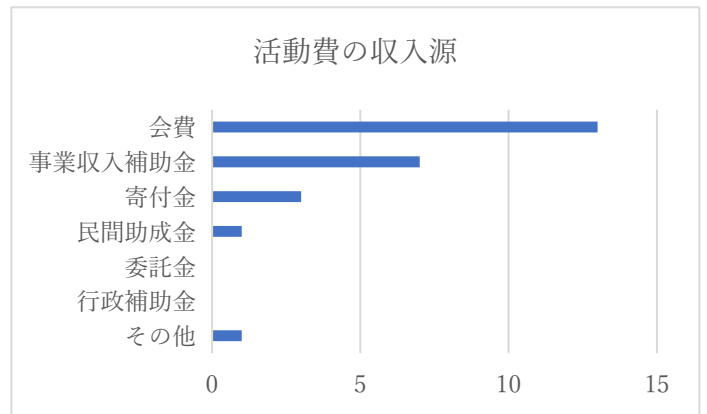
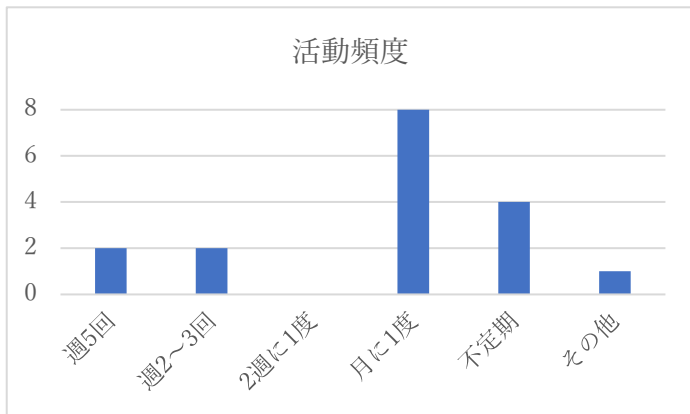
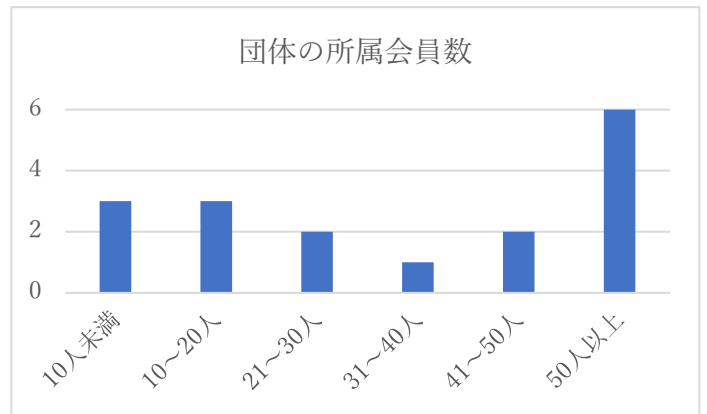
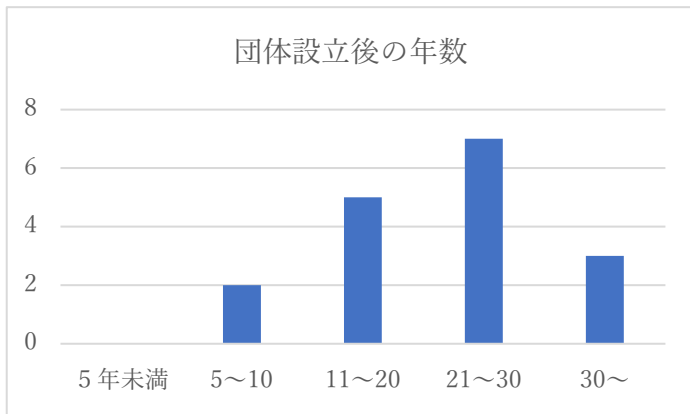
・AbikoCarryCAFE

7 P 審議会報告 事務局からのお知らせ

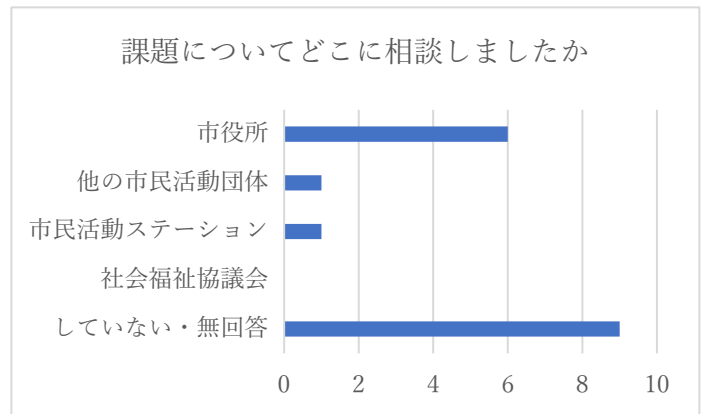
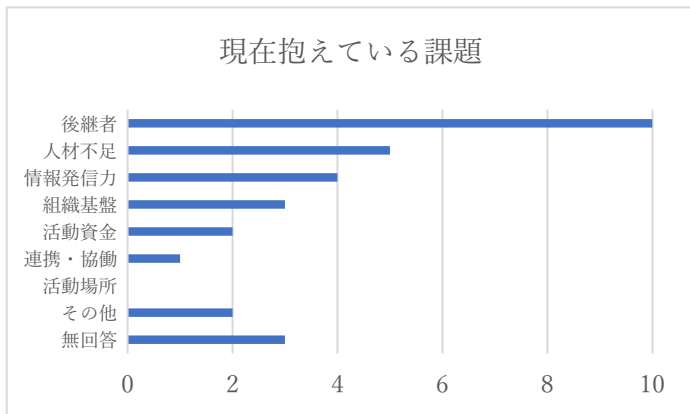
8 P みんなの掲示板 SKS からのお知らせ

# 会員の現状を把握する事業「会員向けアンケート集計結果」

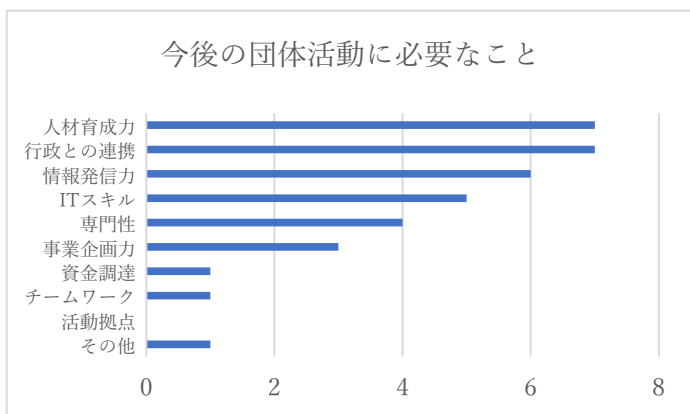
問1



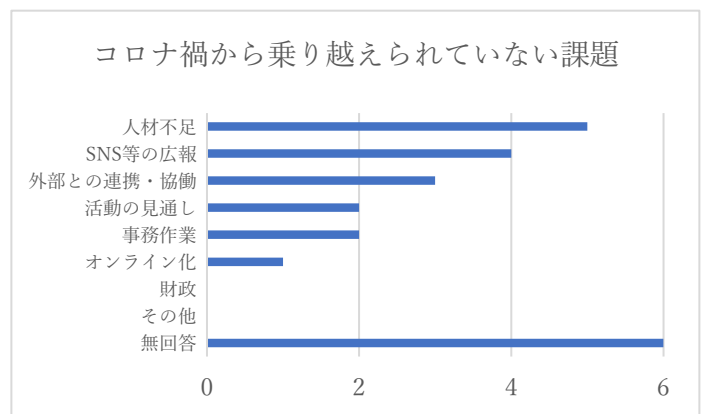
問2



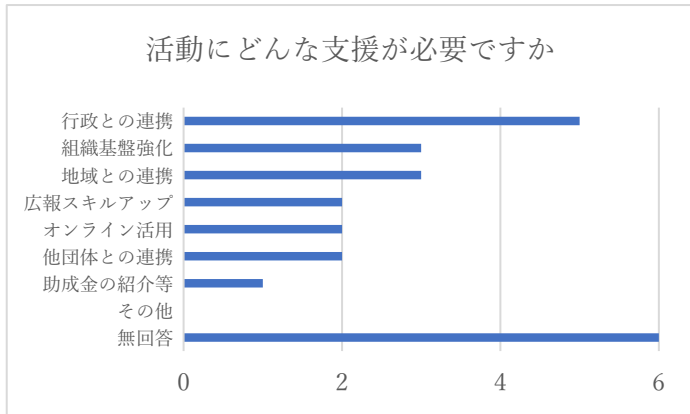
問3



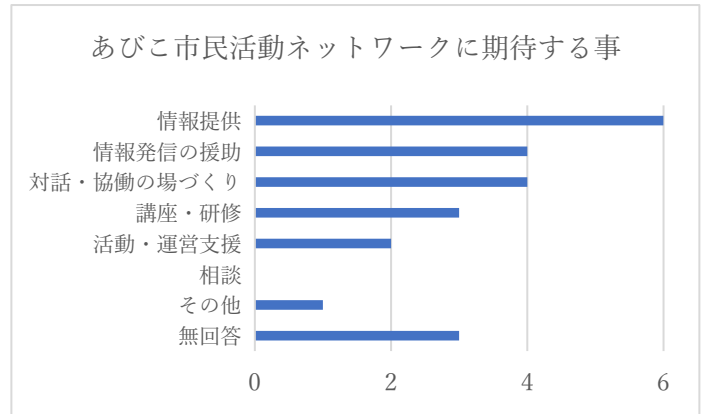
問4



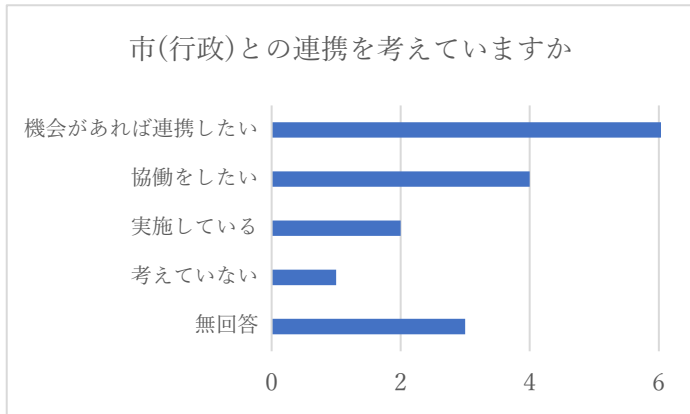
問5



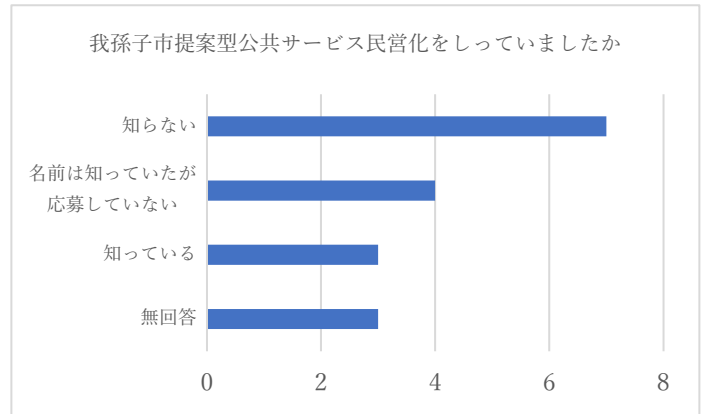
問6



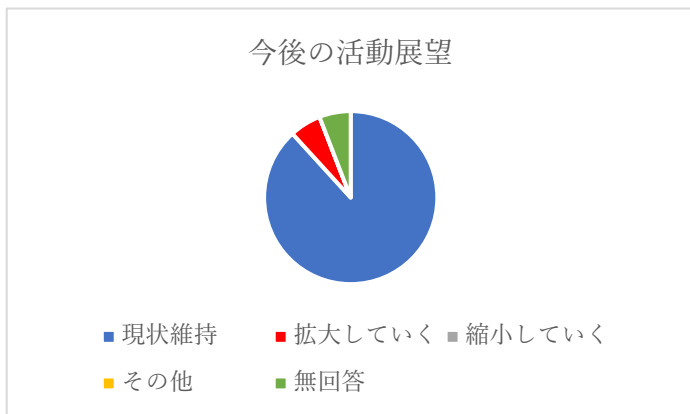
問7



問8



問9



アンケートのご協力ありがとうございました。

今回のアンケートは対象 40 団体に対して、返答は 17 件でした。あびこ市民活動ネットワーク「会員の把握する事業」では、ご返信いただいた内容を精査し、皆様の活動の活性化につながる取組みを検討してまいります。なお、より深くニーズを把握するため、アンケート内容について個別にご連絡をさせていただくことがございます。その際にご協力いただけますと幸いです。引き続きよろしくお願いいたします。

問10 自由記述

・地球が壊れようとしている昨今もっと自然を見直して、自然好きな人を仲間に・・・会員になってもらうのではない。春夏秋冬の美しさを知り自然を大切に、もっと自然へ出てほしい。日本の自然を好きになってほしい。と常に思っています。

・代表の他、担当にもあびこ市民活動ネットワークのお知らせをお願いします。

・最大の課題は会員等の確保である。しかし、なかなか決め手がない状況である。

・我孫子市の市民活動団体も設立20年以上経過しているものが多い。活動団体の多くが会員の高齢化で後継者問題、実際に活動している会員数が減少して活動維持が徐々に困難な状況が続いている。あと数年したら団体数は半減する恐れあり。中央学院大学や川村学園等の学生のボランティアとの協働に我孫子市としてサポート、橋渡しの場を設けて欲しい。

・人の確保は、日々日常においてアンテナを張り個別の対応が、結果として一番いい結果につながっている。講習など市の広報で募集しても、ほとんどが繋がらないのが実情である。身の丈を意識して運営しているので、運営上での問題はほとんどない。研修などで人材の育成の継続が必要であり、今後も継続実施していく

## 子ども応援団事業 2023

### 「New！あびこの子どもの居場所」を実施！！

あびこ市民活動ネットワークでは、5年間にわたって生きづらさを抱える子どもたちを応援してきました。その中で、家庭でもなく、学校でもない第3の居場所があったらいいねという話が頻繁に出てきて、第8回の企画は、我孫子市内の居場所作りの活動について情報交換をする事になりました。12月9日（土）我孫子市南近隣センター多目的ホールにおいて実施し、参加は27人（うち子ども4人）スタッフ15人でした。

当日は、第1部として、「手賀沼まんだら」「ビスケット」と、市民の活動を支える企業「ウエルシア薬局株式会社」のウエルカフェ」を紹介しました。



第2部は、参加団体の皆さんと、「我孫子市教育相談センター：遠藤所長」からのコメントも織り交ぜたパネルディスカッション「だれもが行きたくなる子どもの居場所をつくる」をおこないました。また、いままでの実行委員でもあった「学習支援ネットワーク」「大人たちから変わろうの会」「東葛市民後見人の会」からも報告や意見をいただき、子ども食堂、子ども会、子ども関係団体の活動にもふれつつ、様々な問題意識と居場所作りの手法について学びました。

持続可能な活動のための資金の調達（助成金の獲得）、関わる人のスキルの向上も大切だねという話の他に、遊び場づくり、学習支援、生活困窮支援、不登校・ひきこもり、孤独等、居場所を求める子ども達や人々のニーズや抱える状況は多様化していて、それに対応する形や方法や場所も多様化している状況がみえてきました。

子どもに限定せず、地域や居場所に集まる人々にあった形や方法を模索しながら、お互いの資源を活かすゆるい連携が大切との声もありました。「居場所つくりやりたい！」の声を上げることにより、様々な人とのつながりができ、力になってくれる仲間に出会えたとの話も印象的でした。「志」と「人とのつながり」は市民活動の原点でもあります。これからも新しい視点と方法でいろいろな活動が市内に広がり、ネットワークの力で支え合っていけることを願います。  
（担当幹事 栗原祐子）



手賀沼まんだら澤田さんと子どもたち



ウエルシア薬局株式会社 澤田さん



ビスケット 水品さん

#### 居場所について共通していたこと

- \* つながりができ、自分らしく生きられる場
- \* 役割を持って参加できる場
- \* 意識的に居場所の価値を理解して言葉かけができるスタッフがいる場

## 株式会社 Hafen のこれから

### ～民間公益活動の担い手になるために～

株式会社 Hafen 代表取締役 山口 純平

株式会社 Hafen は我孫子市天王台にあるミナトスポーツクラブ天王台の運営会社です。2023年には新たに休眠預金活用事業の実行団体として民間公益活動にもチャレンジしており、今までのスイミング事業で培ったノウハウを活かし「地域の子ども・若者の支援事業」をすすめております。今回はその中で私が感じた「これからの株式会社 Hafen の役割」を2つお話しします。

#### ① 習い事が担う新たな役割と可能性。地域で子育てサポートする街を目指して。

今回の休眠預金活用事業でのチャレンジの一つに「Hafen まなびば」があります。習い事×宿題サポート×居場所がコンセプトで、ミナトスイミングをスイミングスクールとしてだけでなく、学ぶ場所・子どもの居場所にも活用して頂きたいと思い立ち上げました。



約5時間のお預かりで、スイミングに入る前に宿題サポートをし、子どもが習い事から帰宅したら宿題が終わっている…という内容です。希望者には送迎を実施し、小学校（学童・あびっこクラブ）へお迎えにあがることで安心して預けられる環境にしています。

我々はこの事業を通じて、我孫子市が「地域で子育てサポートする街」となるお手伝いをしたいと思っています。そして今後習い事が子育てサポートという新た



な役割を担うきっかけになることを期待しています。

#### ② 無知・無関心からの脱却。全世代で取り組む民間公益活動。

休眠預金活用事業を通じて我々が最も変わったのは意識です。今まで知らなかった各団体・個人の地域に向けた素晴らしい活動の数々に触れたことは、私どもにとって大変刺激になりました。



それと共に、私どもの持っている場所・人(スタッフならびに各世代の会員含む)・ノウハウが皆様の活動にもっと活かせる、協力できるのではないかと、いう気づきも生まれました。我々の持っているものを使って、まずは多くの人に様々な活動を知って頂き、関心を持って頂くお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

そして、自団体でも更なる地域貢献を目指し、今回学んだことを糧に、そしてこれまでの出会いに感謝し、恩返しをしたいと思っています。

## 地域の活動あれこれ

### 近ごろ話題の超高齢化社会体験ゲーム「コミュニティコーピング」

あびコミュコピ代表 田中 玲子

「コミュニティコーピング」というゲームをご存じですか？このゲームでは、ボード上のまちに悩みや困りごとを抱えた住民が次々に現れます。まちの住民でもあるプレイヤーは、悩みを聞いたり、相談できる相手と繋がったり、その人と悩める人を引き合わせたりして、ゲームを進めます。困っている人が地区に溢れてしまったらゲームオーバー。プレイヤーは勝ち負けを競うのではなく、まちが崩壊しないように協力する仲間になって、わいわいがやがや、打つ手を一緒に考えます。

あびコミュコピは、このゲームに惚れ込んだメンバー8人で活動しています。福祉分野で活動していたり、市民活動に関わっていたり、普段やっていることはいろいろですが、「まちづくりが大事」という志のもとに集まった仲間です。うれしいことに最近は団体からの体験会ご依頼も増えています。ピンと来た方、ぜひオープン体験会にお越しください！



**オープン体験会のお知らせ**  
**2月22日(木) 18:10-19:50**  
**アビスタ工芸工作室にて**

## 子育てしているお母さんのチカラになりたい ～Abiko Carry CAFÉ のあびっ子カフェ～

2023年7月に我孫子駅北口徒歩1分の場所にオープンした「Abiko Carry CAFÉ」で、中学生までの子どもにも無料で食事を提供する新しい居場所があると聞き、Abiko Carry CAFÉ を経営している代表の秋山尊さんにお話を聞いてきました。



秋山さんは7年前に家族で我孫子に移り住み「我孫子で事業をしているし、自分の子どもの地元となる我孫子で、未来の子どもたちに何かを還元できたら」という考えから「あびっ子カフェ」の立ち上げに繋がったそうです。ご自身も育児をするなかで、子を育てる親に余裕がないとピリピリしてしまい、親は子どもにあたってしまう、子どもはそれを感じ取ってしまう。お母さんに余裕ができたなら子どもへの接し方にも余裕が出るし、それが子どもたちの心の安定につながるという思いで、「あびっ子カフェ」をオープンしました。

我孫子では市民による子ども食堂が活発に活動されていますが、「企業だからできる助成金に頼らない地域の取組が、これからも広がっていったら我孫子のまちが良いまちになっていくんじゃないかな」と秋山さんは話していました。

ご興味のある方は是非 Abiko Carry CAFÉ に足を運んでみたらいかがでしょうか。あびっ子カフェに限らず、おいしい食事とおしゃれな空間は大人にとっても素敵な居場所です。

あびっ子カフェ (Abiko Carry CAFE 内)

住所 我孫子市我孫子 1-1-13

時間 16:00～18:00(テイクアウト可)

※水曜、隔週火曜定休



## 地域ささえあい交流会ご報告

我孫子市高齢者ささえあい会議委員長 吉田 充

我孫子市社会福祉協議会が発行している「高齢者困ったときガイド」に登録されている事業者・関連している地域活動団体の顔の見える関係づくりを目的として、地域ささえあい交流会が令和5年12月14日に行われました。当日は事業者・団体から33名、我孫子市高齢者ささえあい委員から10名、我孫子市役所から4名、我孫子市社会福祉協議会から4名の合計51名が参加。

それぞれが活動を通じて感じている課題などを共有し、事業者や団体の連携につながることが期待されます。当日の話題の中で、悪徳商法にまつわる気になる話題が出ておりました。害虫害獣の駆除やリフォー

ムに関する悪徳業者に引っかかってしまうトラブルはイメージできますが、孤独を感じている高齢者が「親身になって自分の話を聞いてくれた。自分と話してくれた。」という思いから、悪徳業者だと認識していても感謝の気持ちをもって契約を結んでしまうケースが増えているそうです。孤立・孤独を感じない地域づくりをしていかななくては、このような被害はならないと感じました。

次回の令和5年度第3回我孫子市高齢者ささえあい会議は令和6年2月～3月に開催予定となっております。

## あびこ市民活動ネットワーク役員会報告 (2023年10月～12月度)

### ■10月度役員会 10月12日(木) Zoom 会議の併用

- ・市民協働推進課との意見交換会の振り返りを行い、今後も定期的に意見交換会を実施していくことで意見がまとまった
- ・会員向けアンケートの内容について検討し、アンケートのたたき台を作成
- ・子ども応援団事業のシンポジウムについての進捗について共有。シンポジウムは12月9日にあびこ南近隣センターで実施
- ・会報67号の内容を共有、確認

### ■11月度役員会 11月9日(木) Zoom 会議の併用

- ・今後、市民協働推進課と意見交換するテーマについて議論
- ・会員向けアンケート作成に伴う、内容の最終確認
- ・12月9日(土)に開催した、子ども応援団事業シンポジウム「New! あびこの子どもの居場所」の当日の運営についての確認
- ・あびこ市民活動ステーションとの連携強化を目的とした、意見交換の場を設ける案について協議

■12月度役員会は役員都合が合わず中止いたしました (担当幹事 山本聖)

## ★ 事務局から ★

◆各団体の役員・担当者・連絡先等に変更があった場合は、その都度、あびこ市民活動ネットワーク事務局へ Faxにてご連絡するようお願いいたします。(Fax 04 7190 5732)

### 【あびこ市民活動ネットワークホームページ活用についてのお願い】

あびこ市民活動ネットワークのホームページにご参加ください!

・各団体の活動報告 ・活動予定・新規会員募集 ・各団体からのおしらせ

あびこ市民活動ネットワークのホームページを使って

会員の活動を活発に情報発信していきます。

我孫子市の市民活動活性化につなげていきたいので、ご協力をお願いいたします。

◆次号は4月15日発行予定です。



# みんなの掲示板

## 我孫子市子どもの学習支援ネットワーク講演会

### 子ども若者の権利と学び

「支え合う社会をつくるために～子ども若者への学習・生活支援のあり方」

講師：宮本 みち子 さん（放送大学/千葉大学名誉教授 社会学博士）  
著書/若者の権利と若者政策(新刊)、すべての若者が生きられる未来を(岩波書店)他多数

【日時】2024年3月23日(土) 14時から (13時30分開場)

【会場】我孫子南近隣センター 9階ホール(けやきプラザ)

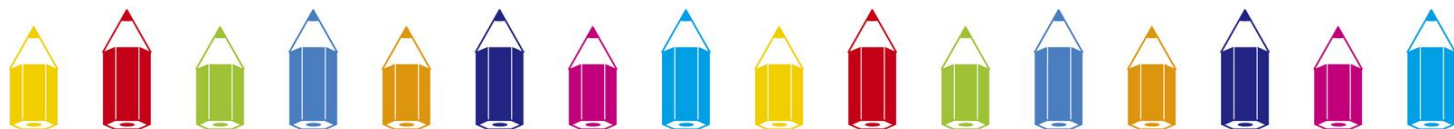
【参加費】無料

【定員】120名(要・事前申込み)

\*事務局・市民活動相談窓口で・と・り・あ ☎04-7185-5233

【主催】我孫子市子どもの学習支援ネットワーク

【問合せ】我孫子市役所 社会福祉課 担当/尾井川 ☎04-7185-1111(内線393)



## あびこ市民活動ステーションからのお知らせ

### 市民のチカラまつりを振り返って

市民のチカラまつりは、我孫子市の市民活動団体が主体となり、市民活動を広く紹介するとともに団体間の交流を促進するための催しです。令和5年度は、昨年9月23日(土)にけやきプラザで実施しました。来場者数は915人と、コロナ前の数に回復しました。他方で参加団体は年々減少し、42団体でした。また、展示や動画で参加という団体が16団体と約4割を占め、催し当日にブースを持たない消極的参加が多くなっています。

終了後、参加団体にアンケートをお願いしましたが、24団体(回答率55.8%)からしか回答が戻りませんでした。市民のチカラまつり「全体の印象」について聞いたところ、「例年より盛況」と回答した団体が33%と最も多かったものの、「例年とほぼ同じ」25%、「あまり盛況でない」13%、「活気がなくなっている」8%の3回答の合計が46%と、半数がプラス評価をしていません。

我孫子市でも少子高齢化が進み、まちの活性化のためには市民による地域づくりへの積極的な関与が必要とされています。今後の市民のチカラまつりのあり方について、団体とともに考え方向転換を図る時期に来ているように思いました。

